

5月の産業保健セミナーの結果

(1) 現代型うつとその対応

5月12日(水)、太田市社会教育総合センター(視聴覚室)で嶋方喜斌先生を講師に迎えて実施し、受講者は32名でした。

「現代型うつ」の特徴と治療方法などを中心に、時代的背景と現代人の特性、若者の仕事観や社会性の課題や、新入社員の早期離職やコミュニケーションのあり方など幅広い対応まで解説していただきました。

「新しいタイプのうつについてこれほど詳しい研修は初めてです」「現代型うつの対応の難しさが良くわかりました」「できれば前橋・高崎でもお願いしたい」「興味のあるテーマですが、内容が多かったので事例中心のセミナーをお願いしたい」等のご意見をいただきました。



(2) 職場の有害業務の拾い出しと安全衛生対策

5月18日(火)、高崎市総合福祉センターで衛生工学担当の大澤武克相談員に講師をお願いし実施しました。作業現場でつい見逃している有害物の危険性等を具体的に指摘し、お金のかからない効果的な対策をお話いただきました。受講者からは「具体例があり分かり易かった」「取り入れられるところは早速取り入れたい」「今後もこのようなセミナーを継続してほしい」などのご意見をいただきました。



衛生工学担当の大澤相談員と柿沼相談員は実地相談もできますので、現場で対策に迷った時は、どうぞ声をおかけください。

(3) 特定保健指導の評価

5月19日(水)、当センター研修室で保健指導担当の佐藤由美相談員に講師をお願いし実施しました。

保健師・看護師の方が中心の研修で、専門的な特定保健指導における「評価」の行い方、評価の視点評価結果の使い方、特に個人レベルの評価の考え方と方法、集団・事業レベルの評価への活用についてお話がありました。

受講者からは「評価を行う上で参考になった」「保健指導を行うにあたりポイントがつかめた」などのご意見をいただきました。



(4) 労働衛生関係法規と関係通達の改正（産業医対象 生涯・更新 2単位）

5月20日(木)、前橋テルサで群馬労働局の権田修労働衛生専門官を講師に迎えて実施しました。定員一杯の38名の先生方に参加いただき、大盛況でした。内容は、最近の労働安全衛生関係法令の体系や最近の法改正や新しい通達についてのお話でした。

当日は飛び込みで参加していただいた先生方が多く、事務局としては、席がなくなる、資料がない、これ以上増えたらどうお断わりしようかと内心びくびくしていました。産業医の先生方どうか事前に申し込みをお願いいたします。（事務局はうれしい悲鳴を上げています）



(5) カウンセリングシリーズ編（かかわり技法）

5月25日(火)、県庁昭和庁舎でカウンセリング担当の羽鳥裕明相談員に講師をお願いしました。羽鳥相談員のほか沼澤文子相談員・カウンセラーの佐藤美三子氏・山口佳子氏にアシスタントとして参加していただき、前半は講義、後半は3名ずつのグループに分かれてかかわり技法の実技を行いました。受講者からは「カウンセリングまたは対話に役立つ」「シュミレーションを入れていただいたので大変良かった」「グループで実技ができてよかった」「シリーズの研修は良いです」「もっと時間が必要だった」等のご意見をいただきました。

*シリーズ3回目は、6月22日に沼澤・羽鳥2名の講師により、より実践的な内容を予定しています。



(6) 職場における禁煙対策

5月27日(木)、当センター研修室で産業医学担当の藤田晴康相談員に講師をお願いし実施しました。「職場における喫煙の問題」「喫煙の現状」喫煙を「中毒」「依存」と捉えての治療方法等、大変参考になる内容でした。受講者からは「新しい情報をたくさんいただいた」「職場で他の人に伝えられる」「できれば太田地区でもう1度開催してほしい」などのご意見をいただきました。

今年、研修の「リクエスト制度」を設けましたので、ご希望があればセンターまで申し出て下さい。(ある程度の人数が揃えば再度同じ研修を開催いたします)

